

オンプレミス内のSLP同期の問題を解決するにはどうすればよいですか。

内容

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するために次のアクションを実施する際に役立ちます。この手順に従ってお客様やパートナーで問題が発生した場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンして解決してください。

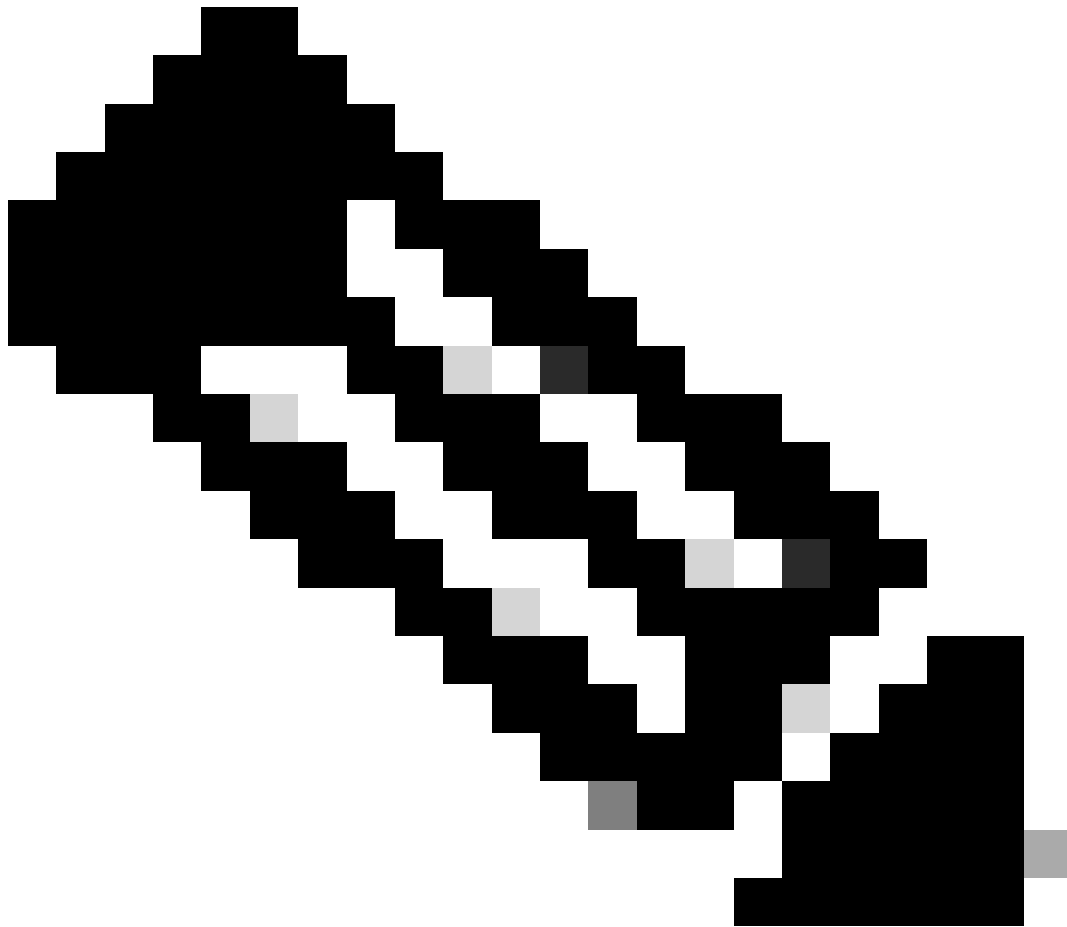
ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

前提条件

を起動する前に、次の点を確認してください。

- シスコスマートアカウント
- スマートアカウントまたは仮想アカウントにアクセスできる有効なCCOユーザIDとパスワード。
- SSMオンプレミスへの管理者アクセス



注：ライセンスサポートチーム以外の社内シスコリソースを使用している場合は、これらのアクションを自分で実行しないでください。

手順

オンプレミス内のSLP間の同期の問題を解決するには、次の手順を実行します。

オンプレミスサーバがインターネットに接続されていない場合、

ステップ1：所有するデバイスに基づいて、SLの完全な手動同期またはSLPの手動同期を実行します。

この操作を実行するには、「[オンプレミス導入で同期を実行する方法は？](#)」をクリックします。

オンプレミスサーバがインターネットに接続されている場合は、次の手順を使用して、サーバがCisco Cloudにpingできるかどうかを確認します。

ステップ1：オンプレミスCLIにログインします。

ステップ2：次のコマンドを入力して、到達可能性を確認します

- curl -v <https://cloudsso.cisco.com>
- curl -v https://swapi.cisco.comに移動します。

ステップ3：プロキシを使用している場合は、次のコマンドを入力して到達可能性を確認します

- curl -v -x <proxy server ip:proxy port num> <https://cloudsso.cisco.com>
- curl -v -x <proxy server ip:proxy port num> https://swapi.cisco.com

接続に成功すると、シスコのクラウドにアクセス可能になり、そうでない場合は、オンプレミス接続に問題がある可能性があります。

SLP同期に入る前にSL同期を実行

この操作を実行するには、「[オンプレミス導入で同期を実行する方法は？](#)」をクリックします。

CSSMとのSLP同期を実行するには、次の手順に従います。

ステップ1：デバイス側で同期する必要があります。

- a.デバイスのCLIにログインします（特定の製品ドキュメントを使用してください）。
- b.コマンド「license smart sync all」を入力します。

ステップ結果：使用状況レポートをオンプレミスにプッシュします。

ステップ2：オンプレミスのSLPネットワーク/手動同期を実行し、デバイスから受信した使用状況レポートに対してACKファイルを取得します。

この操作を実行するには、「[オンプレミス導入で同期を実行する方法は？](#)」をクリックします。

ステップ3:SSMオンプレミスでACKを受信したら、これをデバイスにインストールするまで24時間待機します。

トラブルシューティング：

このプロセスで対処できない問題が発生した場合は、ソフトウェアライセンスオプションを使用して[Support Case Manager\(SCM\)](#)でケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容についてのフィードバックは、[ここ](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。